

『作業を楽にするからくり機構の基礎知識』

将来の労働人口減少を見越し、働き方改革が叫ばれ、業務効率化や時短勤務の取り組みが様々なモノづくり企業で取り組まれています。そうした環境変化に対応するには、勤労意欲の高い高齢者や女性が活躍できる現場への改善が必要となります。筋力のいる作業や重量物の運搬等が負担にならないよう、知恵と工夫で作業環境を変える取り組みが必要不可欠です。

eラーニングでは、現場で行う作業改善を踏まえて、道具や工具類を自分達で考えられるように、最近流行の「からくり」の基本を身近な物理の事例等を加えて解説いたします。実践型研修では、研修キットや身近にある素材を活用し、負荷の多い仕事を「楽に・安全に」行うアイデアや工夫を参加者の視点で発想し形にします。

カリキュラム

e-learning



1 「気づく」から始まる

- ・「もったいない」と気づく
- ・働く意欲が現場を変える

2 身近な物理の活用して

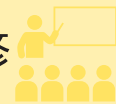
- ・てこの原理、空気の流れを活用
- ・動滑車と定滑車で楽に

3 簡単なメカニズムを知る

- ・機械は回転、直線、揺動の動きで構成
- ・自重エネルギーの無料

4 現場を変える力

集合型実践研修



1 からくりの考え方と事例

- ・自動化と自働化の違い
- ・ポカヨケ
- ・家庭にあるからくり

2 ムダなく疲労の少ない合理的な作業へ

- ・動作経済の4原則
- ・自分の職場のムダやちょっとしたやりにくさ

3 からくりの基本的な機構と動力

4 ワークショップ

- ・身近にあるもので工夫しよう！

e-learning 動画配信期間

2020 2021
12 / 11 ~ 1 / 25

集合研修日

2021
1 / 13 水
10:00~16:00

集合研修会場

名古屋市内研修会場（予定）
詳細は受講票にてお知らせいたします

講師

㈱石川改善技術研究所 代表取締役
石川 政道 氏

住友金属工業を経てソニーに入社。生産技術は「IE的な手法」と「技術の革新」の両論で進めるべきと言う持論をもとに、デバイス・半導体の生産ラインの企画構想や設備道具の開発を行う一方、IWによる製造現場の生産性向上・品質歩留まり向上を長年に渡って担当。向上での作業改善・品質向上や在庫削減指導を行いながら、「からくり技術」として国内外の工場における生産技術や製造技術の人材育成と指導を行い、大きな成果を果たした。

中部産業連盟 参事
杉藤 里美

1998年中産連に入職。製造業中心にコンサルティング活動を展開するとともに人材育成講師、ものづくり企業ダイバーシティ研究会の主宰を務める。自らが現役の管理職であり、女性活躍の伝道師として多くの女性リーダーの指導・育成に携わる。

お申込みについて

中産連ウェブサイトよりお申込みください

▶ <http://www.chusanren.or.jp/diversity/03.html>

